

世界  
Saw  
も  
知  
り  
たい!

# もしり

Moshiri

## 標茶町在住 JICA 海外協力隊 経験者の声

千葉 友行さん

マラウイ共和国へ家畜飼育隊員として2005年～2007年に派遣



▲千葉友行さんのご家族(奥様もJICA海外協力隊経験者)と、ベトナム人技能実習生のリエウさん

「自分が持っている技術や知識を伝えたい、そして人の力になりたい。」と思い、2005年から2年間アフリカ東部のマラウイ共和国にて、牛の人工授精師の養成に携わってきました。任期中マラウイの人達からたくさんのお話を学びました。日本の様に何でも揃う環境ではない中、身近にある物を利用して生活を楽しめる豊

さや、何があっても動じない強さ、厳しい自然の中を生き抜く逞しさ、その全てに感銘を受けました。そして同時に、他者を受け入れる寛容な精神と、家族や隣人を大切にしている心の温かさを持ち合わせていました。帰国してから時間が経つほど、マラウイの人達と生活できた事に感謝の気持ちが湧いてきます。

現在、私は同じくマラウイの青年海外協力隊員であった妻と標茶町で酪農業を営んでいます。民泊や研修生の受け入れ、国内外の体験型農業プログラム(WWOOF)を利用して、さまざまなゲストを迎えて行きたいと思っています。牧場で育つ子供達には様々な人との交流を基に、豊かな心を育てて欲しいと切に願っています。

- 2007年…マラウイ共和国から帰国。
- 2008年…獣医学科へ進学
- 2013年…標茶町で乳牛診療に携わる。
- 2017年…退職
- 2018年…標茶町で酪農の新規就農。

## 世界のイベント紹介! 11月はDiwali@インド



日本では、1月に新年を祝いますが、世界の中には11月に新年を迎える国があります。それは「インド」です。国民の約8割をヒンドゥー教徒が占めるインドでは、ヒンドゥー暦の7番目の月に新年を迎えます。今年は11月4日。地域や宗教によってその由来や神話には解釈の違いがあるものの、そのお祝いのことをDiwali(ディワリー)と言います。当日は、夕暮れから朝方まであちこちで花火が上がります。また、家の玄関には色付きの米や花びらなどで、カラフルで美しいランゴリという飾りが描かれたり、「ディヤ」と呼ばれるキャンドルが灯されます。この時期、インド人の知り合いを見つけたら「Happy Diwali」と声をかけてみると、きっと喜んでくれるでしょう。新年の始まりは国が違って大切な日。皆さん、良き新年をお迎えください!(\_)\_☆



▲「ランゴリ」 ▲花火の出店



▲「ディヤ」

## Facebookページのご紹介!

Facebook  ページ  
楽しい情報、日々更新中!

JICA北海道(帯広)では、世界のこと、途上国のこと、JICA北海道(帯広)のイベント情報など、いろいろな楽しい情報を発信しています。たくさんのおいね!をお待ちしています!

